

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
38206西条 市	②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティアの 確保・育成	令和5年度は、教職員、地域関係者等を対象に講師を招聘し地域別に講演会を実施し、制度趣旨と学校運営協議会の役割の理解促進を図った。令和6年度は、講演を継続するとともに年度末に活動状況や先行校の事例を共有し、意見交換を実施した。また、令和6年度から市内全小中学校に学校運営協議会を設置し活動を進める中で、特に「人材の確保」に関する課題が浮き彫りとなった。	学校運営協議会において、活動の核となる地域コーディネーターの役割を明確にするとともに、実践的な運営ノウハウや学校運営協議会の運営の理解を深めることを目的に、研修会を実施する。	令和6年度に実施した研修会では、学校運営協議会や地域コーディネーターの役割と重要性について理解を深めることができた。しかし、実際の運営や取組に直結する内容を研修する時間を確保できなかった。これを踏まえ、令和7年度は参加者が実践的に学べるよう、研修内容を強化する。	保護者や地域の方が一定の権限を持って学校運営に参画し、学校地域が一体となって地域を担う子ども達の体制を支える。	講演会等の研修会	2	件	3	2	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 研修会の実施回数は2回となり、目標達成に至らなかった。一方で、実施した研修会では、地域コーディネーター及び教職員等を対象に、本市の現状や充実に向けた基本方針、地域コーディネーター活動のポイント等を共有し、統括コーディネーターを交えた意見交換を行った。これにより、学校運営に関する理解や関係者間の共通理解が促進され、保護者や地域の方が学校運営に参画するための基盤が一定程度強化された。課題としては、研修回数に加え、未参加者への周知や地域課題や好事例の共有機会が十分でなかった点が挙げられる。今後は、研修機会の確保を図るとともに保護者や地域の方が実践的に参画できるような働きかけを促進していく。